

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

| | | | | | | |
|----------------|------|----------|-----|---------|---------------|--------|
| 施 策 名 (小項目) | 広聴広報 | コード | 作成者 | 役職 | 総務部総務課長 | |
| | | 05-01-01 | | 氏名 | 藤原 一徳 | |
| | | | 電話 | 64-1807 | | |
| | | | | | このシート作成に要した時間 | 1.0 時間 |

| | |
|-----------------------|--|
| この施策の アピール ポイント | アパート等の建築物が増加する中、町内会に加入していない世帯が増えていることから、広報紙の不達世帯を少しでもなくそうと、コンビニエンスストアに広報紙を配置して、市民の利便性を図っている。 |
|-----------------------|--|

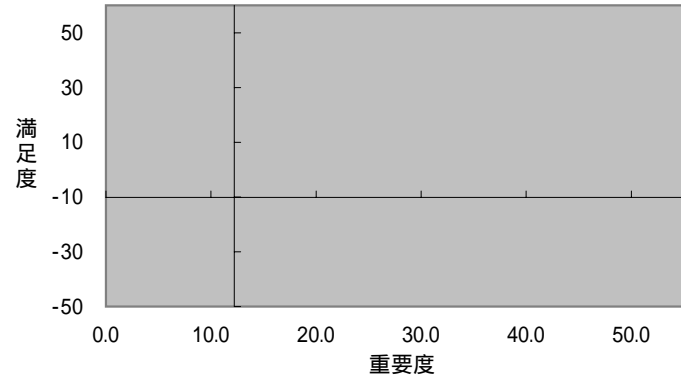
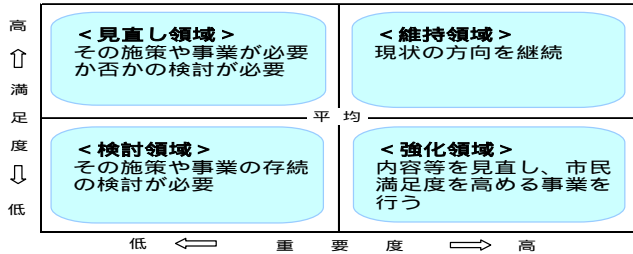
| | |
|--------------------------|---|
| この施策の 平成23年度の 施政方針 | 広聴広報についてであります。 「備前市まちづくり基本条例」に基づき、より多くの市民が市政に参画できるよう行政ニーズを的確に捉え、市政の現状や状況を分かりやすく正確に情報提供することで、さまざまな御意見、御提言をまちづくりに生かしてまいります。 広報活動では、市政の動き、各種施策、財政状況や地域の情報など幅広い行政情報を、より分かりやすく読みやすい内容でお伝えできるよう努めるとともに、即応性の高い映像やホームページ画像をさらに活用して、きめ細やかな情報を積極的に発信してまいります。 広聴活動としては、「あなたからのご意見箱」や、電子メールでの御意見・御提言やパブリックコメント制度を継続して運用し、市民の皆様が市政に幅広く参加、参画していただく機会を提供してまいります。 |
|--------------------------|---|

< 備前市総合計画の内容から記載する >

| | | |
|---------------------------------|--|---------------|
| 政策の体系 | 基本目標(大項目) | 住民主体の協働のまちづくり |
| | 基本施策(中項目) | 住民主体で進めるまちづくり |
| 対象と目的 (誰のために、何のために) | 市政に対する理解と協力を得るため、市民に行政情報を的確に伝え、市民が市政に何を望んでいるのかを的確に把握し、市政運営に反映させる。また、ホームページによる行政情報・刊行情報を充実させ、全国へ備前市の紹介を行う。 | |
| 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出) | 市民の要望は近年多様化しており、その意見・要望を的確に把握し活かしていくことが重要である。そのためにも、市民の生の声を充分聴き市政に反映させる必要がある。 | |
| 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広聴活動の充実 ・ 広報活動の充実 ・ パブリックコメント制度の周知 ・ ・ ・ ・ | |

市民意識調査による施策の重要度・満足度

| | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 調査年度 | H21 | H22 | H23 | H24 |
| 重要度(%) | | | | |
| 満足度(%) | | | | |



| | |
|---------------------|---|
| 調査結果に対するコメント、市民の反応等 | 市民アンケートでは、広報誌を読んでいる市民の割合が81.3%で徐々に低減してきているが、調査開始以降常に8割以上をキープしている。一部に「広報誌の内容がわかりづらく、読みにくい」という意見はあるものの、今後も市民が読みやすく、親しみやすい紙面づくりを目指す。 |
| 調査対象でない施策は、市民の反応等 | |

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

| 施策に対する成果指標名 | 単位 | 過年度実績 | | | 評価年度 | 成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明 | 目標値 | |
|----------------------------|--------|-------|------|------|------|--------------------------|-----|------|
| | | H21 | H22 | H23 | | | H24 | 90.0 |
| 成果指標 「広報びぜん」を読んでいる市民の割合 | 目標 | % | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 市民意識調査による | H24 | 90.0 |
| | 実績 | % | 83.9 | 85.5 | 84.1 | | H28 | 90.0 |
| | 達成率 | % | 93.2 | 95.0 | 93.4 | | - | - |
| | ベンチマーク | | | | | | - | - |
| 参考指標 | 目標 | | | | | | H24 | |
| | 実績 | | | | | | H28 | |
| | 達成率 | % | | | | | - | - |
| | ベンチマーク | | | | | | - | - |
| 参考指標 | 目標 | | | | | | H24 | |
| | 実績 | | | | | | H28 | |
| | 達成率 | % | | | | | - | - |
| | ベンチマーク | | | | | | - | - |
| 参考指標 | 目標 | | | | | | H24 | |
| | 実績 | | | | | | H28 | |
| | 達成率 | % | | | | | - | - |
| | ベンチマーク | | | | | | - | - |

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

| 実施主体 | 新規に必要な事業・連携が必要な事業 | 説明・期待される効果 |
|----------|-------------------|----------------------------|
| まちづくり推進課 | 意見交換会事業 | 各地域の住民から意見を聴取し、広聴広報の参考とする。 |
| | | |
| | | |

施策の評価

| 項目 | 評価 | 5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い | |
|-------------------------------------|--------------|--|--------------------------|
| | | 判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか) | |
| 1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか? | 4 | 市の発行する広報誌「広報びぜん」は、市民にとって必要不可欠な情報提供・お知らせの手段であり、また、ネット環境にない市民にとって唯一の情報提供であることから妥当である。 | |
| 2 <事業構成の適当性> 手段は最適か? | 3 | 市民に全戸配布を基本としている広報誌は、8割以上の方に読まれており、発行・配布の方法は最適であるが、さらにコンビニエンスストアに配置することによって市民の利便性の向上を図っている。 | |
| 3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは? | 3 | 市民への情報提供は行政の使命であり、今後も読みやすい、ぜひ読んでみたいと思っただけのような紙面を検討、発行していく必要がある。 | |
| 進行年度(H24年度)の取組内容 (課題解決状況) | | 本年度も平易で分かりやすく、子どもから大人まで市民の誰もが読んでいただける広報となるよう、企画取材した「ラン・LAN・欄」を継続して行うとともに、地域のネットワークをテーマにするなど、より魅力のある内容になるよう努める。また、ホームページについても、見やすい、読みやすい、分かりやすいを基本に、画面の表示比率を改善する。 | |
| 翌年度(H25年度)の取組目標 | | 限られた広報紙面をいかに有効に利用できるかを研究するとともに、市政の周知のみならず、市民と行政の協働によるまちづくりの実現に向けて、情報の共有ができるよう創意工夫する。 | |
| 二次評価者コメント | | フェイスブックなどネットによる利用者数は激増しています。また、コミュニティ誌やフリーペーパー等の活用も考えられますので、研究してください。 | 基本施策への貢献度 3 中立 |
| 役職 氏名 | 総務部長 三村 功 | | |

